

各事業における13期と14期の目標

2020.3.30

	13期 (2019.9～2020.8)	14期 (2020.9～2021.8)
学会	学会活動の見える化	学会員の意識改革
HP・広報委員会	学会活動のホームページを通じた見える化の促進 ・学会全ての事業、委員会、部会活動の見える化の検討	学会活動のホームページを通じた情報発信の充実 ・学会全ての事業、委員会、部会活動の見える化の公開 ・新規サイトリニューアル検討
研究誌編集委員会	実践活動報告の充実に向けた基盤づくり ・第14号の総掲載数：15～20本 ・実践活動報告：～5本	研究と実践活動の両方の報告を含む独自性のある学会誌としてのプレゼンス向上 ・第15号の総掲載数：20～25本 ・実践活動報告：～5本
渉外委員会 国内連携部会	第12期までに連携した関連団体との連携体制の整理及び強化 ・関連の細則を整備し、現連携団体との連携体制を整理し強化する	スポーツ関連団体との連携体制の構築及び、合同イベント開催の定着 ・連携団体との合同イベント開催
学術広報事業		
研究教育支援委員会 研究支援部会 教育支援部会 更新研修部会 講習会部会	日本スポーツ栄養学会における学術研究領域の体制整備 ・各種事業の見える化	実践活動報告の発信にむけた各種講習会による支援体制づくり スポーツ現場に還元できるデータ収集のための体制づくり
国際交流委員会	海外のスポーツ栄養関連団体との連携体制と情報の流れを確立する。 ・PINES(Professionals in nutrition for exercise and sport)や韓国運動栄養学会(KSEN)等との連携を深め、情報交換を推進する。	JSNAが共催する国際シンポジウムに向けた会員支援について検討する。 国際交流推進の意義を理解できる会員を増やし、会員からの意見を委員会活動にフィードバックする流れを作る。
認定事業運営委員会	新カリキュラムの整理と新テキスト発行 ・新テキストの校正・発行 ・新カリキュラムによる講習会の運営 ・更新について現在の状況を分析する	新カリキュラムと新テキストによる講習会・検定試験の整理 ・新カリキュラムによる講習会の修正や調整の完了 ・新カリキュラムによる検定試験の準備と実施 ・更新手続き等についての見直し